

第18回日本衛生検査学会開催される—名古屋

18回目を迎えた日本衛生検査学会は4月26-27日・名古屋市内の愛知文化講堂を中心に7会場で開催された。参加者は約3000名(主催者調べ)に達し、各会場とも若い技師たちでほぼいっぱいになり、熱心に口演に耳をかたむけていた。なかでも、壁に研究成果を簡明に記し、予定の時間になると発表者が説明を加え、さらにその場で質問に答えるいわゆる“示説発表”はかなりの好評を得

ており、集まった技師たちは“動かない記録”をカメラにおさめたり、気軽に質問したりしていた。この他、特別講演に外人講師(ルイス・パチノー博士)が、初めて加わったことも特筆すべきニュースであった。

また、前回の札幌大会の時の要望もあつてか、器械器具、試薬、臨床検査関係書の展示も2会場にわたり、かなりの混雑をみた。



第1会場の愛知文化講堂(上)

開会式風景(右)

マイク片手に.....(示説会場)(下)

参考書の展示場(右下)

